

# 根知地区こうみんかん

令和2年6月25日

第346号

TEL558-2002

館長 佐藤 求

〒949-0534 糸魚川市和泉355-3 メール nechiko@bz04.plala.or.jp



## 7月の地区の行事予定

- 7日(火) 七夕飾り
- 11日(土) 盆栽教室
- 18日(土) 歴史講座・大糸線乗車体験ツアー
- 21日(火) ポタニカルキャンドルづくり



## 「新しい生活様式」を取り入れながら 公民館事業再開します

6月19日から、外出の自粛や催し物の開催（イベント）の開催制限が緩和されました。これに伴い公民館もこれからは市外の方も利用できるようになりました。

ただし、コロナウイルスがいなくなったわけではありません。必ず来ると言われる第2波に備え、これまで以上にお一人お一人が感染症対策をとって行動していただくようお願いいたします。

当面は国が推奨している「新しい生活様式」に基づいて事業を行います。

### 公民館事業（主催・共催）における新型コロナウイルス感染予防対策について

糸魚川市より指針が出されています。

それに基づき以下のようにお願いします。

- ・体調の悪い人（発熱・下痢など）は参加をご遠慮ください。
- ・参加される方はマスク着用と手指消毒にご協力ください。  
（マスクの着用をしていただけない方の参加をお断りする場合があります。）
- ・三密を避ける対策として会場と人数を、人と人との距離を出来るだけ2メートル（最低1メートル）とれるように設定します。
- ・会議や講座は座席を離し、時間を1時間～2時間とします。当面の間、飲食を伴う事業はしません。

### 貸館について

- ・利用者はマスクの着用、手洗い、体調の悪いときは入館しない、密を避ける、参加者の記録の徹底をお願いします。
- ・使用後は、部屋の清掃と消毒をお願いします。用具は公民館で用意します。

人口及び世帯数 2年5月末現在（ ）内は前月

糸魚川市	男	20,434(20,452)	女	21,329(21,342)	合計	41,763(41,794)	世帯数	17,368(17,362)
根知	男	437(440)	女	461(461)	合計	898(901)	世帯数	397(397)

おしらせ

# 盆栽教室開催します

コロナで再々延期されていた盆栽教室ですが、下記日程で開催したいと思います。

- ◆とき 7月11日(土) 14:00~15:30
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆申込み 7月7日(火)までに公民館へ 定員10名  
※新型コロナの感染状況によっては変更になる場合があります。

## 歴史講座

- ◆とき 7月18日(土) 10:30~16:30
- ◆ところ 10:30大糸線根知駅集合
- ◆内容 大糸線で南小谷まで行き周辺の散策をします。
- ◆参加費 南小谷まで往復運賃(1020円)と昼食代を自己負担でお願いします。
- ◆申込み 7月16日(木)までに公民館へ  
※新型コロナの感染状況によっては変更になる場合があります。



## ボタニカルキャンドル作り

ドライフラワーなどを埋め込んでつくるボタニカルキャンドルを作ってみませんか?

- ◆とき 7月21日(火) 14:00~15:00
- ◆ところ 根知地区公民館
- ◆参加費 2000円
- ◆申込み 7月10日(金)までに公民館へ

## 塩の道資料館よりおしらせ

6月13日より資料館を開けております。同時に山口の吉田菓子屋さんより和菓子(落雁)等に使用した型を展示しております。是非、ご覧ください。

## 今年度の給食サービスについて

社会福祉協議会根知支部主催の給食サービスですが、新型コロナウイルスの影響を考慮しながら開催します。今年度の予定は以下のとおりです。※状況によっては変更する可能性があります。

**第1回 10月14日(水)、 第2回 11月11日(水)、 第3回 3月10日(水)**

雨飾山の雪形も眺める間のなく消えてしまった。水不足が心配されるし、反動での集中豪雨も心配される。水は生命の源であるはずが、時として人命を奪う危険をもたらすこともある。新型コロナウイルスで生活が脅かされる昨今、災害の無いことを特に願いたい。

今から約100年前のスペイン風邪が比較される。全世界で5億人が感染し死者は5000万人ともいわれている。

日本では1918年から1920年まで感染が続き、45万人が死亡した。

当時の日本の人口は5600万人であったので、その死者数は現在に当てはめると120万人が死ぬ計算になる。

政府の対策は、「一、咳をしている人には近寄ってはならない。」「二、たくさん人が集まっている所に立ち入るな。」「三、人の集まっている場所ではマスクをつけそれだけでなく、鼻、口をハンカチ手ぬぐいなどで軽く覆う。」など今と全く同じ対策が取られていた。

1920年が過ぎると自然に鎮静化していった。政府の対策が、功を奏したわけではなく、ウイルスが日本の隅々まで拡大し、もはやこれ以上感染が拡大する限界を迎えたからだ。そしてスペイン風邪にかり生き残った人々が、免疫抗体を獲得したからであった。スペイン風邪は嵐のように世界中を襲い、そして自然に去って行ったというのが実際のところであった。

根知谷